

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕 皮膚リンパ腫臨床統計調査研究

〔研究機関名〕 聖隷三方原病院

〔研究機関の長〕 山本貴道

〔研究責任者〕 大場操（皮膚科・医師）

〔研究の概要〕

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：2022年1月26日～2030年12月31日

目的：皮膚リンパ腫は多数の疾患単位よりなり希少な疾患群であるだけでなく、民族間や人種間で疾患単位の構成は大きく異なっています。しかし、わが国においてはその基礎となるデータが不足しており、これまではわが国での発症症例数すら把握されていない状況でした。本調査研究は日本皮膚悪性腫瘍学会が主体となって全国レベルでの調査を実施するもので、これまで得られたデータから欧米などとの発症頻度に関する相違点が明らかになりつつあります。また、新規治療法の開発を考える上でも患者数や主要な年齢分布を知っていくことは重要です。毎年継続的に全国レベルで皮膚リンパ腫の新規発症患者数を収集し、データとして蓄積することで疫学データの解析が可能になります。これによってわが国での皮膚リンパ腫患者の疫学的な特徴を明らかに出来ます。

方法：2018年以降、前年に皮膚リンパ腫で当院皮膚科を受診された患者さんの診療録から、①病型、②性別、③年齢、④病期、⑤選択した治療法、⑥治療効果、⑦転帰などを抜き出し、登録します。全国規模でデータを収集した後、統計学的な解析を行ないます。なお、患者さん個人が同定できる情報は登録しません。

■ 対象となる患者さん

2017年1月1日から2028年12月31日までに、聖隷三方原病院皮膚科を受診された皮膚リンパ腫の患者さんを対象にしています。登録は2018年以降、前年に診断が付いた患者さんについて毎年登録を行ないます。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病型、性別、年齢、治療法、治療効果等

■ 研究組織

研究代表者：鹿児島大学病院 感覚器センター 皮膚科 助教 川平尚生

研究事務局：鹿児島大学病院皮膚科

共同研究機関及び研究責任者

京都府立医科大学 加藤則人

近畿大学 藤井一恭

浜松医科大学 島内隆寿

聖マリアンナ医科大学 宮垣朝光

症例登録する施設

日本皮膚科学会認定教育研修施設（全国約650施設）

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
大場操、皮膚科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971